



ロボットプログラミング選手権 2022 全国大会

2月1日（水）、全国から20チームが集まり、ロボットプログラミング選手権2022全国大会が Web で開催されました。みはま支援学校から2チーム【M-pro】と【天下無双】が出場しました。【M-pro】の1回戦目は、神奈川県立秦野養護学校の【KNN】チームとの対戦でした。惜しくも負けてしまいましたが、白熱した真剣勝負に盛り上がりました。続いて、【天下無双】の出番です。1回戦目はなんと、地区予選決勝で僅差で負けてしまったチームとのリベンジマッチとなりました。試合が始まる前、緊張感がピークに達してる中、「絶対勝つ、負けへんからな！」と鼓舞する生徒もおり、段々と勝てる雰囲気満たされていました。3試合して先に2勝すれば勝ちとなります。

1試合目、みはまの戦法は、後ろグルグルの待ち伏せ作戦です。相手は攻撃型で攻めてきましたが、危なげなく、1試合目は勝ちました。2試合目も勝ち、なんと3試合目も勝ち、全勝で勝利することができました。全国大会だけあって、どのチームも強敵であり、一勝するだけでも難しく、しかもリベンジを果たせたということで、みんな大歓声で喜んでいました。その後、2回戦を勝ち進め、準決勝で僅差で負けてしまいましたが、ベスト4という素晴らしい功績を残すことができました。勝負の世界なので勝ち負けが目立ちますが、どの学校も取り入れていなかった動きを取り入れ、探求し、ひとつの戦法を確立できたことが何より価値のあることではないでしょうか。



令和4年度 卒業式

3月1日（水）に、二学部（通学生）高等部の、3月14日（火）に、一学部（入院生）小学部・中学部・高等部の、3月15日（水）には、二学部・中学部の卒業式を挙行了しました。例年であれば、一学部の通学できている児童生徒は、二学部と合同卒業式の形をとるのですが、コロナ禍の中、今年度についても、入院生は病院で、通学生は体育館で行いました。

一学部の様子を紹介します。一学部は、デイルームで病棟ごとに行いました。和歌山病院からも、関係の皆様にご臨席を賜り、また、3名の保護者の方にもご参加いただき、厳粛な雰囲気の中にも、アットホームな心温まる卒業式を行うことが出来ました。今年度は、初めての試みとして、体育館とリモートで繋ぎ、二学部生も参加する形を取りました。校歌斉唱では、二学部生が歌う校歌が病棟の卒業生達にも届いたと思います。校長先生から卒業生5名、ひとり一人に卒業証書が手渡され、校長先生より式辞の言葉をいただきました。その後の在校生送辞では、児童生徒と教員とで作った心温まるビデオメッセージが送られました。卒業生答辞では、卒業生の学校生活での思い出が担任から紹介されました。最後に、別れの歌「水平線」を歌唱し（リモートにより体育館の二学部生達の歌声が病棟に響き渡りました）、式を終えました。とても感動的で素晴らしい卒業式でした。



